



都城西ロータリークラブ

Miyakonojo-West Rotary Club

2007年～2008年度 クラブテーマ

明るく・楽しく・元気よく

会長 小田 賢一

幹事 小俵 武



" ROTARY SHARES "
2007-2008年度RI会長
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン氏

週報 第1564回 平成20年 3月 5日

国際ロータリー第2730地区 都城西ロータリークラブ 創立1976年3月10日 例会：毎週水曜日 例会場：ホテル中山荘 Tel 0986-23-3666
事務局：メインホテルナカムラ4F Tel 0986-25-0834 Fax 0986-25-0618 Mail：rc2730@lily.ocn.ne.jp http://miyakonojo.sakura.ne.jp

点鐘

合唱 奉仕の理想 君が代

ビジター紹介

都 城 都城北 都城中央 なし

□会長の時間 小田 賢一

みなさん、こんにちは。

いよいよ3月に入りました。ご存じのように3月は別名「弥生」と言われ、「いやおひ」が本来の語源です。草木が燃え上がるようにいよいよ生えるということです。いよいよこれからあらゆる植物や生物が動き始める感じがします。

昨日も春一番が吹き荒れました。3日は中国からの黄砂も舞いました。着実に春が近づいています。いよいよ春本番となります。

さてロータリーにとって3月は、識字率向上月間となっています。1986年以来の国際ロータリーの強調事項です。

日本では、読み書きが出来ることは当たり前のことのようになっていますが、ユネスコの調査によると、世界ではまだまだ9億人以上の人々が読み書きが出来ないそうです。読み書きが出来なければ、良い仕事ができず、貧しい暮らしから脱することが出来ません。また日常生活の中で、たとえば薬の飲み方が書いてある字も読むことが出来ません。様々な不便や不安が付きまといます。

ロータリーはその為にさまざまな活動をしています。今日皆様のお手元に配布されているロータリーの友3月号をご覧ください。P.5～12まで日本のロータリーがラオスやミャンマー、インド、フィリピンなどでの活動の様子が紹介されています。

我がクラブもカンボジアの竹と風の学校の為に、学校建設支援に貢献していることも識字率向上の為に大きな力になっています。

日本では、読み書きが出来ない人はいないし、我が国の国力発展の大きな一因が教育の充実であることは事実ですが、最近本を読まない人や漢字が正しく書けない人間が多くなっていることは残念な事です。せっかくの知恵の源泉である言葉

や文字をおろそかにしているのではないかと危惧しています。

読書時間の調査結果を見ますと、小学生から中学生、高校生になるにつれて読書時間や本の冊数が減って来ます。小学生で8冊、中学生2.8冊、高校生1.3冊、いずれも1カ月間です。一方不読者（1カ月に全く本を読まない人）は小学校7.0%、中学校18.8%、高校生42.6%となっています。小学校では全国一斉の読書時間の確保や「ハリーポッター」などのファンタジーが流行して読書時間が増えている傾向があります。高学年になるに従って、受験勉強で読む時間が無くなるという原因もあります。また読書に対してだんだんと興味が無くなるのでしょうか。

また間違い漢字を書く調査結果で昨日の宮日新聞には、小学校3年生で「戸外」を書けた児童は1.4%、小学校6年生で「革新」を書けた児童は5.9%しかいなかったとの事でした。

我が社でも社員の字の知らないことと言ったらキリがありません。見積書や提案書など社外に出す書類は、誤字脱字が少しでもあると会社の品格を疑われます。

しかし単に本を読めば良いという事ではありません。哲学者のショーペンハウエルは「読書は他人にものを考えてもらうことである」と警告を吐きました。書物を読み自らの頭を本に支配されるのか、あるいは本を使って自分の頭で考えるのか。本を読むのか、本に読まれるのか。その差は大きく、まったく異なる人生になることでしょう。

ロータリーが推進する世界中の識字率向上のために貢献しながら、文字を通して物事の本質を読み取る力や自分で考える力を養って行かなくてはならないと思います。

会長の時間でした。

□幹事報告 小俵 武

- 佐土原RC……3月例会プログラム予定表
- ガバナ……青少年職場体験受け入
事業所について調査依頼
月信3月号
- ロータリーの友3月号
- 東蔚山RC…来訪者名簿

□クラブ報告事項

- * 3月例会出席予定表の提出を宜しく
お願いいたします。
- * 東蔚山RC歓迎会並びに観桜会
4/2(水)→3/29(土) 18:30-中山荘
3/29(土) 30(日) 31(月) 2泊3日で来訪
29日は福岡港迎え
30日は観光とゴルフ、31日は福岡港送り
スケジュールが決まりましたご案内致します。
会員、夫人皆様の参加ご協力をお願いします。
※尚、3/29(土)は夫人同伴です。
- * 例会終了後 東蔚山歓迎会について、エトワールにて、国際親睦の合同委員会を致します。
- * 本日 18:30-中山荘 世界大会結団式
- * 本日の例会に教育振興基金奨学生
柳田美寿代さん(財部高校)
福岡 直樹さん(都城農業高校)がきます。

□出席報告

会員数	60名	
出免数	4名	
出席数	44+3名	
出席率	78.33%	
前々回修正出席率	2/20	93.44%
前回修正出席率	2/27	90.00%

※2/29付で三嶋 孝雄・吉田 勉会員が退会されました

届出有	上田 岡崎 鬼束 鎌田継 甲斐 草水 吉田努 中村七 久保 山下 藤岡 山浦 盛田
MU有会員	上田 2/28 中央 2/29 都城 2/27 理事会 小田 小俵 中村七 平川 岡崎 精松 三坂 大峯 井福 高辺 鎌田博 中山
MU無会員	脇丸 盛田 木佐貴 中村静 2/20
要MU会員	外山 鬼束 岩下 福本 前野 2/27 吉田勉

□委員会報告

結婚・誕生祝



教育振興基金奨学生



柳田美寿代さん



福岡 直樹くん

□SAA

鳥集 寿一

◎ ニコニコ箱

小田 賢一…CLP委員会最勝寺副委員長の卓話有難うございました

馬渡 秀光…入院中はいろいろと有難うございました
お陰様で無事帰ることができました。今後ともよろしく願いいたします

河中 功…誕生月がきても嬉しくない年になりました

鮫島 孝慶…結婚祝いを頂き有難うございます

土持 修… 同じ

岩下 晃… 同じ

吉元 鉄夫… 同じ

◎ ロータリー財団

福本 晃…ロータリー財団へ

◎ 米山奨学会

福本 晃…米山奨学会へ

◎ 教育振興基金

福本 晃…教育振興基金へ

	3/5	計
ニコニコBOX	15,000	314,387
ゴルフBOX	4,056	94,762
ロータリー財団	10,800	328,000
米山奨学会	5,000	423,000
教育振興基金	5,000	244,000
	*竹と風の学校	73,686

◎ 今後のプログラム

3/12 職業奉仕賞授与式 小林雅子さん

3/19 教育振興基金担当

雑誌会報委員会

吉田 勉 鮫島 孝慶 馬渡 秀光

甲斐 克彦 ロータリー事務局 制作

インターネット委員会

福永 直人 馬渡 秀光 今井 幸夫 藤岡 成学

□ 本日のプログラム

CLP担当例会



最勝寺俊昌副委員長卓話

CLP (クラブ・リーダーシップ・プラン)

現在、世界のロータリークラブでは会員数が20名以下のクラブが約20%に達しています。会員数が少ないことから、クラブの活動が停滞し、苦慮しているクラブも数多く出てきています。

日本では平均的なクラブ会員数は40～50名程度ですが、それでも従来の「推奨ロータリークラブ細則」をそのまま適用すると、1会員複数の委員会に掛け持ちして所属することになります。このため、結果的に委員会活動が低調になるとして所属することになります。

こうした状況を改革するため、RIのリーダーシップ開発研修委員会はCLPを数年にわたり検討してきました。

変更後のクラブ細則ではクラブ委員会構造はこれまでの推奨された18委員会から5委員会に押さえられています。

これによってどんな小さなクラブでもこの5つの常任委員会を設置すればクラブ運営は可能となりました。なお、クラブは、細則の改正とそれに伴うプランの実施を奨励されていますが、義務づけられている訳ではありません。



馬渡 秀光会員
無事、帰って参りました！！
ご心配をお掛けしました。



3月識字率向上月間



日本では、読み書きができるということは当たり前のことのように思われています。しかし、地球上には読み書きができない人たちがたくさんいるのです。読み書きができなければ、良い仕事を見つけることができず、貧しい暮らしを余儀なくされますが、そればかりではありません。例えば、薬の飲み方が書いてあっても読むことができないので、どのように飲んだらいいのかわからないのです。

ロータリーでは、全世界のすべての人たちが、読み書きができるよう、識字率が向上するように、さまざまな活動をしています。発展途上国のへき地の村に学校を建てたり、教科書や鉛筆、ノートなどを送ったりしています。

文字が読めないのは子どもたちばかりではありません。成人、特に女性に、文字を理解できない人がたくさんいます。おかあさんが読み書きできるようになると、その子どもたちに教えることもできるし、家計を支えるための仕事に就くこともできるようになります。このような理由から、ロータリーでは、成人女性に対する教育も支援しています。

オーストラリアの原住民であるアボリジニの人たちに英語を教えるため、同国のリチャード・ウォーカー博士がCLE (Concerned Language Encounter) という言語教育法を開発しました。ウォーカー博士はロータリアン（ロータリークラブの会員）です。CLEというのは、例えば、子どもたちなら画用紙からお面をつくったり、人形をつくったりという簡単な作業をしながら文字を教えていきます。成人の女性なら、料理や裁縫、手工芸といった実用的な、そして収入にも結びつくようなものを取り上げて、そういった作業をしながら文字を学んでいきます。



幼児用読み書きセットを贈る

楽しいこと、実益に結びつくようなこととともに文字を学ぶことができるので、途中で挫折する人が非常に少ないといわれています。また、費用も少なく、短い期間で学ぶことができます。

したがって、多くの国のロータリアンたちは、この教育法を使って、多くの子どもたちや成人女性に文字を教えたり、先生の育成をしたりしています。

文字が読めないと良い仕事に就くことができず、生活は貧しくなります。貧しいが故に、その子どもたちは学校に通うことができず、文字を覚えることもできません。そして、良い仕事を見つけることができず、貧しい暮らしを強いられます。こうした貧困の連鎖を断ち切るためにも、ロータリアンたちは、世界中のいろいろな地域で、すべての人たちが読み書きができるよう、活動を続けています。